

平成29年度学力調査結果について

(全国学力・学習状況調査)

平成29年9月

益田市教育委員会

益田市全体の結果概要

I 全国学力・学習状況調査について

1 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- これらの取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日

平成 29 年 4 月 18 日 (火)

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 (国語A、算数・数学A)	主として「活用」に関する問題 (国語B、算数・数学B)
<ul style="list-style-type: none"> ・身につけておかなければあとの学年の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能等 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する値あらなどに関わる内容等

(2) 意識調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 実施学校数・学年・教科等・人数

校種	実施学校数	学年	教科に関する調査				意識調査	実施人数(人)
			国語A (知識)	国語B (活用)	算数・数学A (知識)	算数・数学B (活用)		
小学	15校	6年生	○	○	○	○	○	376
中学	12校	3年生	○	○	○	○	○	379

II 用語

- 「正答率」 …各学年・教科において、児童生徒個人が正答した問題の割合(%)を島根県または益田市単位で平均した値
- 「領域」 …各教科の学習内容を系統的に示したもの。例えば、算数では「数と計算」「図形」など。
- 「無解答率」 …教科の各設問において、無解答であった児童生徒の割合(%)

III 公表について

1 公表の内容

教科に関する調査及び生活習慣や学校環境等に関する質問紙調査について、益田市全体の結果

2 公表結果に関する留意事項

本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力や生活意識等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと。

◇本調査における正答率1ポイントの差は、正答数に換算すると0.09~0.32問の差に過ぎないこと。

◎したがって、数値の細かな差のみに着目するのではなく、全体の傾向を大きく捉えたり、無解答率や誤答等も含めて、成果と課題を丁寧に捉えたりすることが必要である。

3 その他

益田市教育委員会のホームページに公表資料を掲載する。

IV 教科に関する調査の結果

1 結果の概要（益田市と島根県・全国の平均正答率の比較等から）

(1) 正答率について

▽各教科平均正答率は7科目で、全国平均を下回った。

▽小6国語B、算数B、中3国語A、B、中3数学Aは、県平均を3ポイント以上、下回った。

○小6国語Aは、全国平均及び県平均を上回った。

○小6国語Aの「話す・聞く能力」、「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」の各観点及び、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の各領域で全国平均及び県平均を上回った。

(2) 正答数の分布について

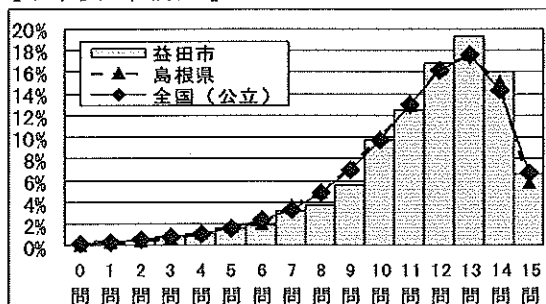
▽正答数の分布をみると、小6国語B、算数A、Bで正答率50～60%以下の層の割合が全国に比べて大きい。また、上位層の割合が全国に比べて小さかった。

○小6国語Aでは、正答率80%以上の層の割合が、全国に比べて大きい。

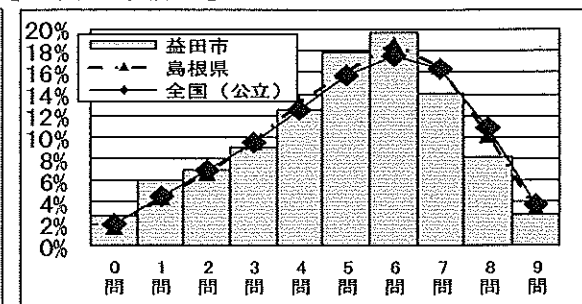
▽中3では、全ての教科において、正答率50%以下の層の割合が全国に比べて大きい。

2 正答数分布状況

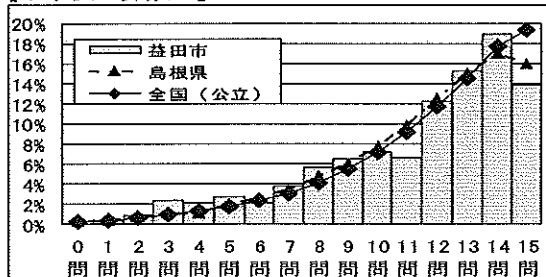
【小学校 国語A】



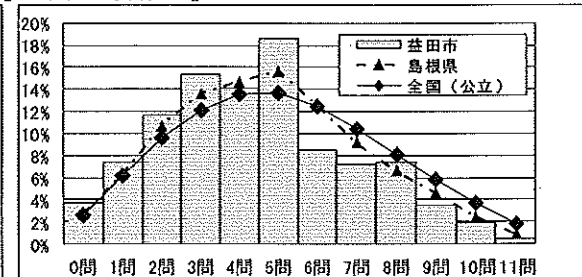
【小学校 国語B】



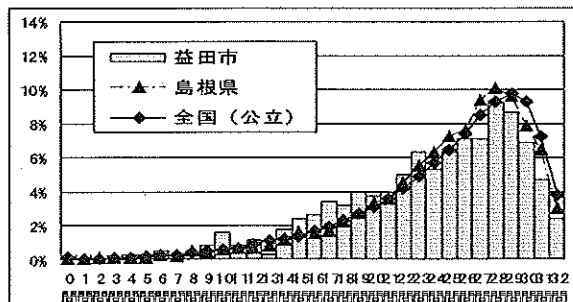
【小学校 算数A】



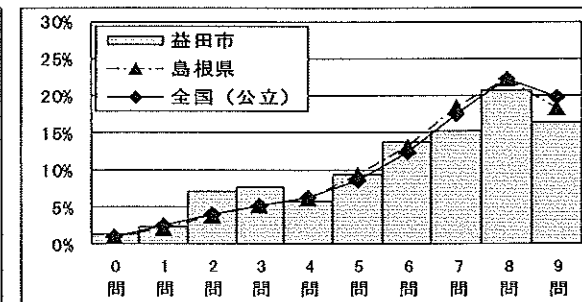
【小学校 算数B】



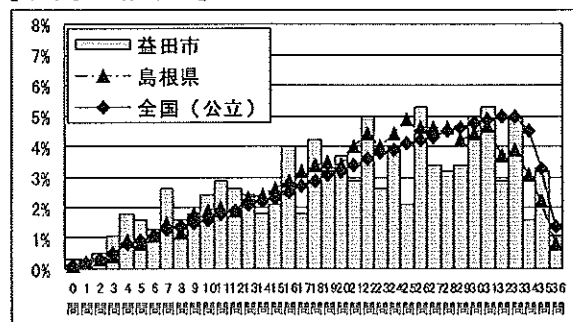
【中学校 国語A】



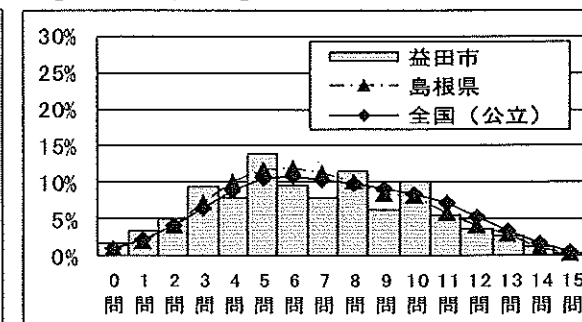
【中学校 国語B】



【中学校 数学A】



【中学校 数学B】



3 各教科の解答状況から特に課題の見られた設問

教科	特に課題がみられた設問と正答率全国差	全国に比べ無解答が多かった設問とその無解答率
国語 A	グループの話し合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する(-4.6P) ことわざの使い方の例として適切なものを選択する(-2.5P) 漢字を書く(参加たいしょう)(51.3%全国は42%)	漢字を書く(参加たいしょう)(12%) 漢字を書く(箱が空いてあります)(11.4%)
国語 B	グループの話し合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く(-3.2P) 「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、[A]に当てはまる言葉として適切なものを選択する(-3.8P) 「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く(-8.6P)	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く(28.5%)
算数 A	$6+0.5 \times 2$ を計算する(-12.9P) 8と12の最小公倍数を求める(-5.3P) 立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ(-4.8P) はじめに持っていたシールの枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ(-3.5P)	出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ(4.3%) 二次元表の合計欄に入る数を書く(7.7%)
算数 B	2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く(-7.7P) 小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の、料金の差の求め方と答えを書く(-6.9P) 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ(-7.8P) 学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ(-7.2P)	2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く(17.8%) 小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の、料金の差の求め方と答えを書く(11.4%) 仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める(18.6%) 与えられた情報から、基準値、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く(13.8%)
国語 A	画面に示された字幕についての説明として適切なものを選択する(-7.3P) 漢字を書く「規模」(-17.9P)、「延期」(-7.4P) 適切な語句を選択する「えり」を正して話を聞く(-8.6P) 話し合いの記録として適切な言葉を考える(-8.9P) 楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する(-7.4P)	それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直す(4.2%) 先生から必要な情報をもろうために適した発言に直す(6.3%)
国語 B	地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す(-7.1P) 比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く(-6.5P)	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く(20.6%) アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く(10.8%)
数学 A	等式 $x+4y=1$ を y について解く(-11.2P) 連立二元一次方程式(分数係数)を解く(-7.8P) 円柱の体積を求める(-8.3P) 錯覚の位置にある角について正しい記述を選ぶ(-13.3P) 与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ(-12.4P) 比例 $y=4x$ について、 x の値が3のときの y の値を求める(-8.1P) 一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に、式で表すことができる(-10.4P) 反復横とびの記録の範囲を求める(-10.7P) 度数分布表から、ある階級の相対度数を求める(-12.0P)	数量の関係を一元一次方程式で表す(25.1%) 連立二元一次方程式(分数係数)を解く(25.1%) 半径が5cm、中心角が 120° の扇形の弧の長さを求める(24.0%) 長方形の縦の長さとの面積の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する(26.4%) ※正答率は+2.4P 反比例の表から比例定数を求める(30.1%) 度数分布表から、ある階級の相対度数を求める(23.5%)
数学 B	六角形を n 個並べて6本ずつ囲んだときに、2回数えているストローを n を用いた式で表す(-9.2P) 1週間の総運動時間が420分のとき、含まれる階級の度数を求める(-7.1P)	四角形の模様がどのような回転移動になるか説明する(25.4%) 六角形 n 個をつくるのに必要なストローの本数が、 $6+5(n-1)$ という式で求められる理由を説明する(31.7%) 貯水量が1500万 m^3 になるまでの日数を求める方法を説明する(39.7%) a の変域に対応する b の変域を求める(25.4%) 2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する(26.2%)

4 教科に関する調査平均正答率一覧

○ 市が3ポイント以上上回るもの
▽ 市が3ポイント以上下回るもの

国語	平成29年度					平成28年度					平成27年度	平成26年度
	益田市	島根県	益田市一県	全国	益田市一全国	益田市	島根県	益田市一県	益田市一全国	益田市一全国	益田市一全国	
小6 A	教科総合	76.0	75.0	1.0	74.8	1.2	70.2	74.5	▽ -4.3	▽ -2.7	▽ -2.6	▽ -0.8
	国語への関心・意欲・態度											
	話す・聞く能力	71.5	71.3	0.2	69.2	2.3	75.2	80.6	▽ -5.4	▽ -4.0	▽ -4.7	▽ -6.9
	書く能力	63.4	61.1	2.3	60.6	2.8	67.4	73.3	▽ -5.9	▽ -5.4	▽ -4.2	▽ -1.8
	読む能力	69.1	69.4	-0.3	70.2	-1.1	77.8	78.8	-1.0	-0.7	▽ -5.4	▽ -4.3
	言語についての知識・理解・技能	78.9	77.8	1.1	78.0	0.9	68.7	73.3	▽ -4.6	▽ -2.4	▽ -1.0	▽ -0.2
小6 B	教科総合	55.0	58.0	▽ -3.0	57.5	-2.5	50.3	57.3	▽ -7.0	▽ -7.5	▽ -3.3	▽ -2.4
	国語への関心・意欲・態度	39.2	42.3	▽ -3.1	41.7	-2.5	46.5	55.0	▽ -8.5	▽ -8.2	▽ -3.7	▽ -2.7
	話す・聞く能力	63.4	67.3	▽ -3.9	64.9	-1.5	44.3	50.4	▽ -6.1	▽ -6.8		▽ -2.3
	書く能力	51.3	53.8	-2.5	53.4	-2.1	46.1	53.3	▽ -7.2	▽ -7.3	▽ -2.8	▽ -2.7
	読む能力	44.1	46.3	-2.2	49.2	▽ -5.1	60.2	69.3	▽ -9.1	▽ -9.1	▽ -4.1	▽ -2.3
	言語についての知識・理解・技能											▽ -2.2
中3 A	教科総合	74.0	77.0	▽ -3.0	77.4	▽ -3.4	73.8	76.3	-2.5	-1.8	▽ -3.2	▽ -2.5
	国語への関心・意欲・態度											
	話す・聞く能力	73.7	77.1	▽ -3.4	75.4	-1.7	78.3	79.6	-1.3	-0.6	▽ -3.4	▽ -2.3
	書く能力	84.1	87.4	▽ -3.3	85.7	-1.6	69.6	74.7	▽ -5.1	▽ -4.1	▽ -3.8	▽ -2.7
	読む能力	70.1	74.0	▽ -3.9	73.8	▽ -3.7	76.1	79.5	▽ -3.4	-2.5	▽ -1.9	▽ -1.0
	言語についての知識・理解・技能	73.0	76.5	▽ -3.5	77.2	▽ -4.2	72.3	74.4	-2.1	-1.6	▽ -3.5	▽ -3.0
中3 B	教科総合	68.0	72.0	▽ -4.0	72.2	▽ -4.2	64.0	67.9	▽ -3.9	▽ -2.5	▽ -3.6	▽ -3.2
	国語への関心・意欲・態度	51.5	54.9	▽ -3.4	55.9	▽ -4.4	54.9	59.1	▽ -4.2	▽ -3.4	▽ -2.8	▽ -3.2
	話す・聞く能力	71.2	73.8	-2.6	72.4	-1.2			0.0		▽ -2.5	
	書く能力	56.4	60.3	▽ -3.9	60.8	▽ -4.4	54.9	59.1	▽ -4.2	▽ -3.4	▽ -2.8	▽ -3.2
	読む能力	66.3	71.0	▽ -4.7	72.1	▽ -5.8	64.0	67.9	▽ -3.9	▽ -2.5	▽ -4.1	▽ -2.6
	言語についての知識・理解・技能	34.9	37.3	-2.4	41.4	▽ -6.5						▽ -3.9

算数・数学	平成29年度					平成28年度					平成27年度	平成26年度
	益田市	島根県	益田市一県	全国	益田市一全国	益田市	島根県	益田市一県	益田市一全国	益田市一全国	益田市一全国	
小6 A	教科総合	75.0	77.0	-2.0	78.6	▽ -3.6	72.5	77.0	▽ -4.5	▽ -5.1	▽ -4.4	▽ -3.6
	算数への関心・意欲・態度											
	数学的な考え方											
	数量や図形についての技能	74.1	75.9	-1.8	77.7	▽ -3.6	79.2	83.2	▽ -4.0	▽ -3.3	▽ -3.1	▽ -2.6
数量や図形についての知識・理解	77.1	78.7	-1.6	79.7	-2.6	69.4	74.2	▽ -4.8	▽ -6.0	▽ -5.3	▽ -4.6	
小6 B	教科総合	40.0	43.0	▽ -3.0	45.9	▽ -5.9	42.5	45.9	▽ -3.4	▽ -4.7	▽ -3.2	▽ -4.2
	算数への関心・意欲・態度											
	数学的な考え方	40.1	42.7	-2.6	45.4	▽ -5.3	37.2	40.5	▽ -3.3	▽ -3.7	▽ -3.3	▽ -5.3
	数量や図形についての技能						45.3	49.5	▽ -4.2	▽ -8.0	▽ -4.0	▽ -2.6
数量や図形についての知識・理解	41.1	44.9	▽ -3.8	48.6	▽ -7.5	63.5	66.5	▽ -3.0	▽ -6.0	▽ -2.0	▽ -3.8	
中3 A	教科総合	59.0	62.0	▽ -3.0	64.6	▽ -5.6	61.0	59.5	1.5	-1.2	▽ -3.3	▽ -2.1
	数学への関心・意欲・態度											
	数学的な見方や考え方											
	数学的な技能	62.2	66.1	▽ -3.9	68.2	▽ -6.0	65.1	64.5	0.6	-1.8	▽ -4.7	▽ -3.4
数量や図形などについての知識・理解	55.3	57.5	-2.2	60.2	▽ -4.9	56.5	53.9	2.6	-0.3	▽ -2.1	▽ -1.1	
中3 B	教科総合	45.0	46.0	-1.0	48.1	▽ -3.1	40.7	41.7	-1.0	▽ -3.4	▽ -5.5	▽ -2.8
	数学への関心・意欲・態度											
	数学的な見方や考え方	33.9	34.8	-0.9	36.8	-2.9	35.1	36.2	-1.1	▽ -3.8	▽ -5.5	▽ -3.1
	数学的な技能	56.5	57.0	-0.5	61.2	▽ -4.7	56.0	56.9	-0.9	-2.5	▽ -6.0	
数量や図形などについての知識・理解	79.6	85.3	▽ -5.7	85.1	▽ -5.5						▽ -0.1	

(参考 H28県学力調査(H28. 12実施))

国語	益田市	島根県	益田市一県
小5			
教科総合	54.2	55.6	-1.4
話す・聞く能力	66.8	66.5	0.3
書く能力	39.3	40.7	-1.4
読む能力	64.2	64.5	-0.3
言語についての知識・理解・技能	52.2	54.7	-2.5
中2			
教科総合	53.5	57.2	▽ -3.7
話す・聞く能力	76.3	79.5	▽ -3.2
書く能力	45.8	50.0	▽ -4.2
読む能力	38.8	42.1	▽ -3.3
言語についての知識・理解・技能	57.1	61.0	▽ -3.9

算数・数学	益田市	島根県	益田市一県
小5			
教科総合	62.4	64.3	-1.9
数学的な考え方	66.9	67.2	-0.3
数量や図形についての技能	62.5	66.5	-4.0
数量や図形についての知識・理解	60.2	60.0	0.2
中2			
教科総合	46.8	48.8	-2.0
数学的な考え方	44.4	43.1	1.3
数量や図形についての技能	40.1	44.0	▽ -3.9
数量や図形についての知識・理解	53.5	54.9	-1.4

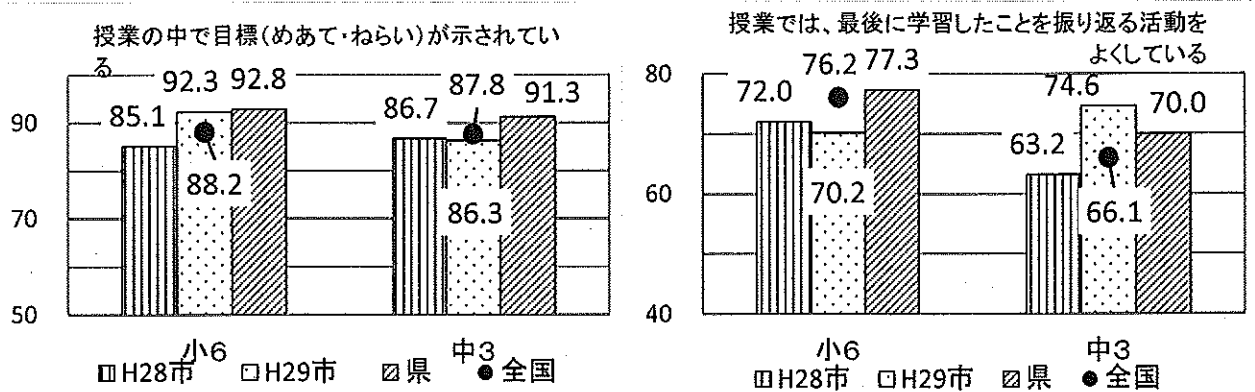
5 児童生徒質問紙結果（生活・学習に関する意識調査）

【学校での授業について】

◇授業において目標を示したり学習内容を振り返る活動を行うなどの授業改善が進んでおり、特に中学校において顕著である。

○「授業のはじめに目標(ねらい・めあて)が示された」の問いで、小6は H28 より7.2 ポイント上昇し、全国値を4.1ポイント上回った。中3では、ほぼ全国値並であったが県平均値を5ポイント下回った。

○「授業の最後に学習内容を振り返る活動を行った」の問いで、小6では H28 より1.8ポイント下降し、全国値を6ポイント、県平均値を7.1ポイントそれぞれ下回った。中3では、H28 より11.4ポイント上昇し、全国値を8.5ポイント、県平均値を4.6ポイントそれぞれ上回った。

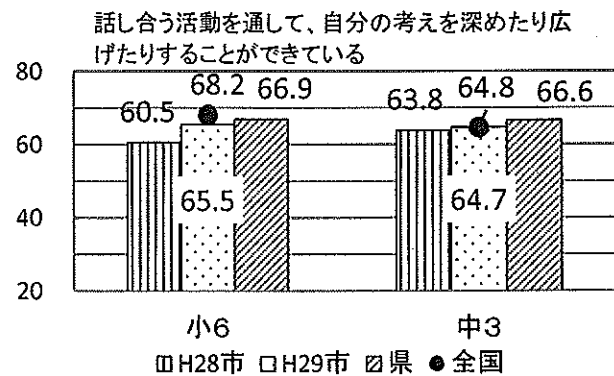
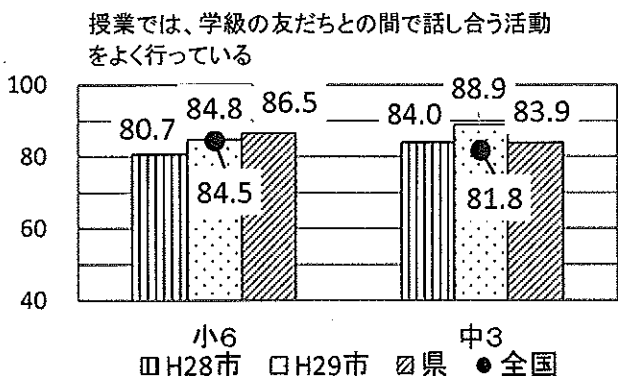
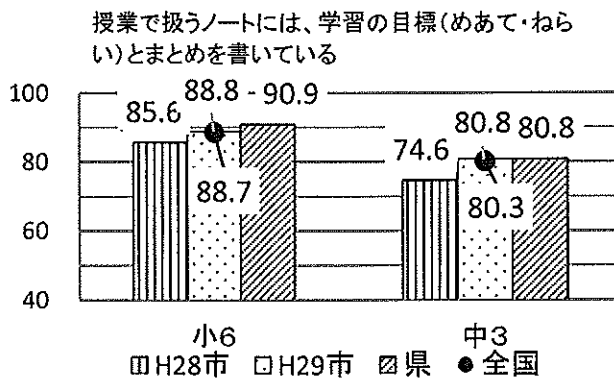


◇授業においてノートに書かせる指導や話し合い活動の充実が見られる。

○「ノートに学習の目標とまとめを書く」の問いで、小6、中3とも H28 よりそれぞれ3.2ポイント、6.2ポイント上昇し、全国値並であった。

○「授業で、学級の友だちとの間で話し合う活動をよく行った」の問いで、小6、中3とも H28 よりそれぞれ4.1ポイント、4.9ポイント上昇し、小6は全国値並、中3は全国値を7.1ポイント上回った。

○「話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりできている」の問いで、小6、中3とも H28 よりそれぞれ5.0ポイント、0.9ポイント上昇し、全国値並であった。



【学校生活や教科の学習について】

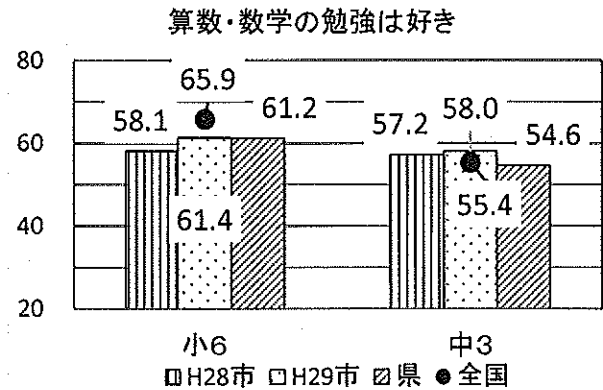
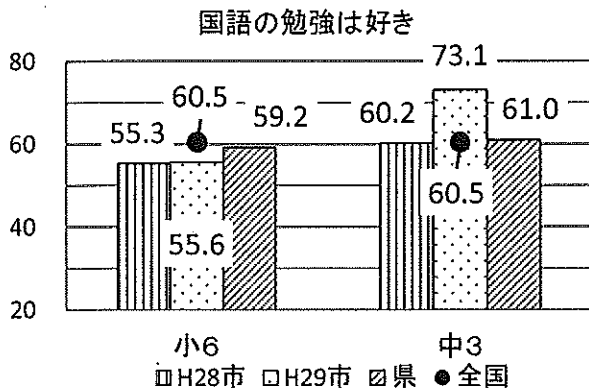
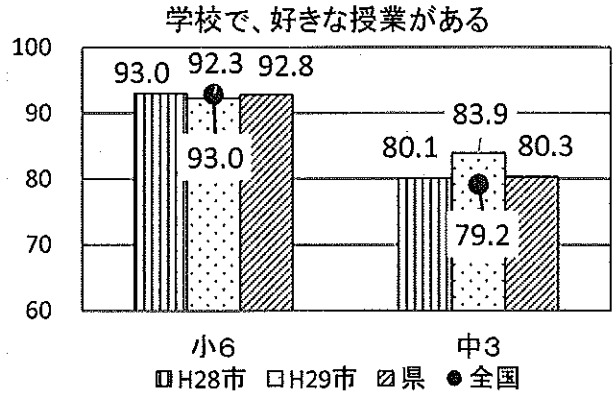
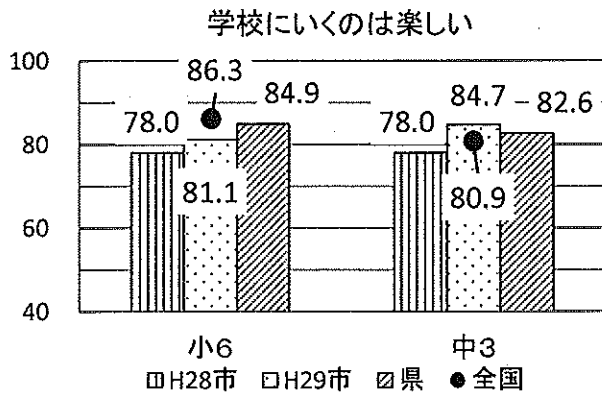
◇教科の学習に対する学習意欲が、小6、中3ともに高まりつつある。

○「学校へ行くのは楽しい」の問いで、小6、中3とも H28 よりそれぞれ 3.1 ポイント、6.7 ポイント上昇し、中3は全国値を 3.8 ポイント上回った。

○「学校で、好きな授業がある」の問いで、小6は全国値及び県平均値並であったが、中3は H28 より3.8 ポイント上昇し、全国値や県平均値をそれぞれ 4.7 ポイント、3.6 ポイント上回った。

○「国語の勉強は好きですか」の問いで、小6、中3とも H28 より上昇した。特に中3では12.9ポイント上昇し、全国値及び県平均値をそれぞれ 12.6 ポイント、12.1 ポイント上回った。

○「算数・数学の勉強は好きですか」の問いで、小6、中3とも H28 より上昇し、中3は全国値及び県平均値をそれぞれ 2.6 ポイント、3.4 ポイント上回った。



【家庭学習や読書、メディア接触について】

◇家庭学習については、依然として課題が見られる。

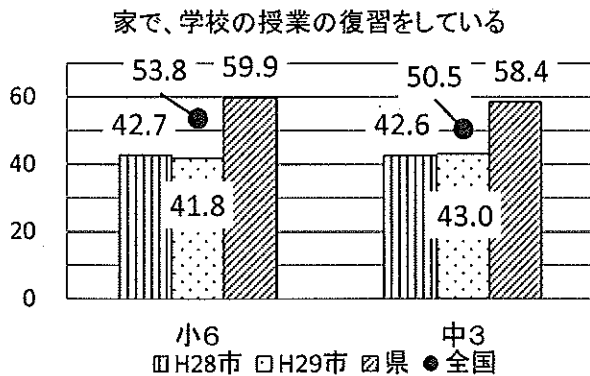
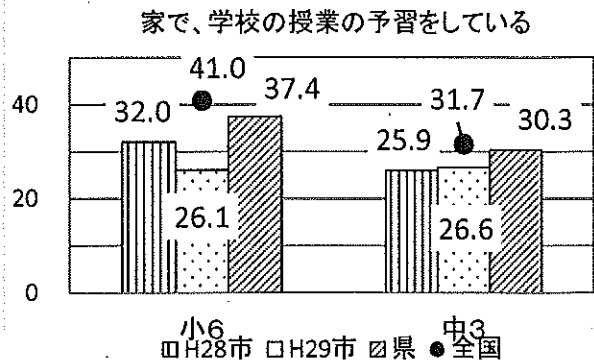
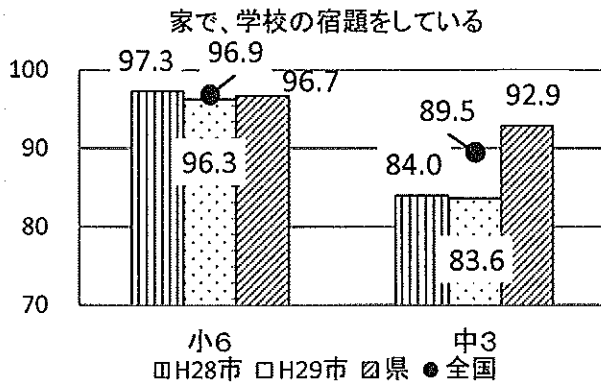
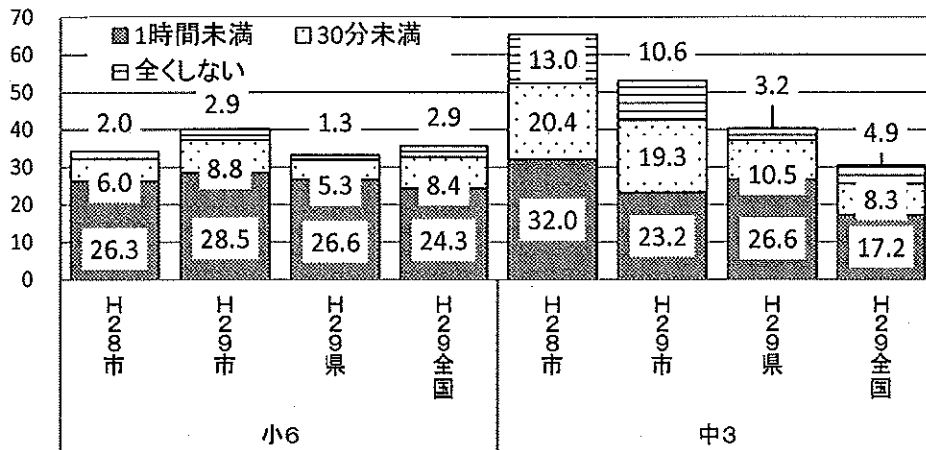
▽「家庭学習時間平日1時間未満」の間いで、小6では全国値よりやや多く、H28より5.9ポイント増加した。中3ではH28より12.3ポイント減少し改善の傾向が見られるが、全国値より22.7ポイント上回った。

▽「家で、学校の宿題をする」の間いで、小6は全国値並であったが、中3は全国値を5.9ポイント、県平均値を9.3ポイント下回った。

▽「学校の授業の予習をしている」の間いで、小6、中3ともは全国値をそれぞれ14.9ポイント、5.1ポイント下回った。また、小6では、H28より5.9ポイント減少している。

▽「学校の授業の復習をしている」の間で、小6、中3ともに横ばいの傾向があり、全国値及び県平均値を大きく下回った。

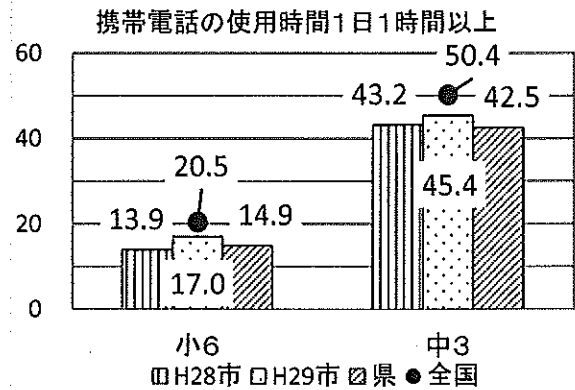
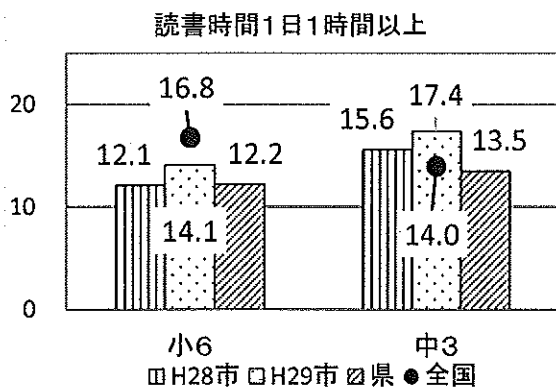
家庭学習1日1時間未満(平日)



◇読書に親しむ傾向が見られる反面、メディア接触のあり方や情報モラル情報リテラシーの形成が必要。

○「読書時間1日1時間以上の割合」においては、小6、中3共にH28よりそれぞれ2ポイント、1.8ポイント増加した。また、中3では全国値を3.4ポイント、県平均値を3.9ポイント上回った。

▽「携帯電話の使用時間1日1時間以上の割合」においては、小6、中3とも全国値を下回っているが、県平均値をそれぞれ2.1ポイント、2.9ポイント上回ると共に、H28と比較して増加傾向が見られた。



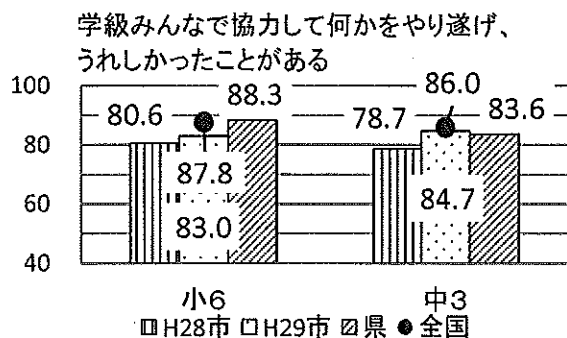
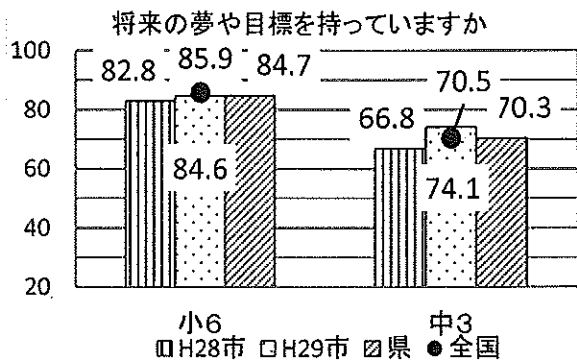
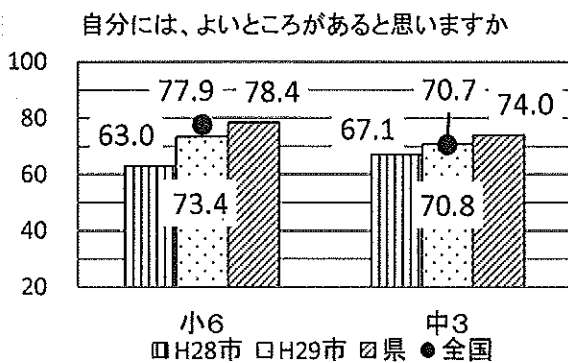
【自分に関することについて】

◇自尊心の高まりや、将来の夢や目標をもつ児童生徒が増加傾向にある。

▽「自分にはよいところがあると思う」の問いで、小6、中3共にH28より増加し、特に小6では10.4ポイント増加した。中3は全国値並であるが、小6は全国値及び県平均値をそれぞれ4.5ポイント、5.0ポイント下回った。

○「将来の夢や目標を持っている」の問いで、小6、中3共にH28より増加傾向が見られた。中3は全国値を3.6ポイント上回った。

○「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」の問いで、小6、中3共にH28より増加傾向があった。

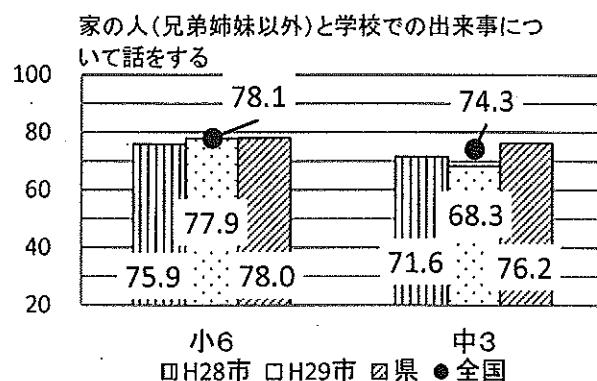
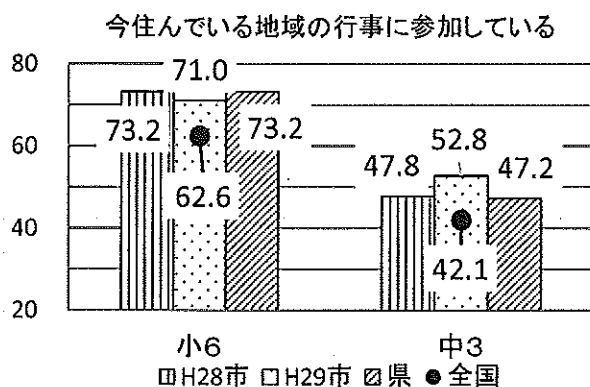


【地域の行事参加や家族との関わりについて】

◇地域行事への参加については、本市の強みである。家族と学校の出来事について、より話せるような働きかけを考えていく必要がある。

○「今住んでいる地域の行事に参加している」の問いで、小6ではH28より減少しているが、小6、中3共に全国値を8～10ポイント以上上回った。

▽「家の人(兄弟姉妹以外)と学校での出来事について話をする」の問いで、小6はH28より増加しており、全国値及び県平均値並であった。中3は、H28より減少し全国値及び県平均値をそれぞれ6ポイント、7.9ポイント下回った。



V 課題解決に向けた方策

○今年度中に行うこと

- 1 各校の「学力育成への取組」の検証と修正
 - *PDCA サイクルによる各校における平成29年度全国学力・学習状況調査結果に基づいた「学力育成への取組」の検証結果と修正について、指導主事による計画訪問を通じた指導
- 2 各校の各学校の研修・実践に対する支援
 - *学校訪問指導の充実～授業改善に関する指導・助言
「授業のめあてを示す」「授業のまとめ・振り返りを行う」の一層の充実と定着
「話し合う活動」の充実と推進
- 3 研究実践校の研究に対する支援
 - *研究実践校の研究に対する支援
研究実践のまとめと成果の共有化
- 4 家庭学習習慣の定着の推進
 - *「学び舎ますだ」の開催と学習支援の充実
退職校長会との連携強化
 - *家庭学習の推進リーフレットの配布と啓発
- 5 県教育委員会との協働による学力向上策の展開
 - *学力向上策・課題の共有と協働・連携した学校訪問指導
- 6 県学力調査等を活用した検証の実施
 - *取組の検証と改善点の明確化

○次年度に向けて準備すること

- 1 学力育成施策の検証と次年度の取組方針決定
 - ・学力育成策の重点化
 - ・児童生徒が安全に安心して学習できる教育環境充実の重点化
 - ・ICTや学校図書館を活用した教育の推進 ～「学ぶ意欲」を高めるための取組
 - ・次期学習指導要領移行期間実施に向けた取組
 - ・学び舎ますだの評価と検証に基づく次年度の計画
- 2 教育委員会教育改革推進室の体制強化
 - ・指導主事の指導力の向上
 - ・益田市校長会や益田市教育研究会との連携